

令和3年度大河原教育事務所管内

「学ぶ土台づくり」圏域別親の学び研修会

宮城県では、幼児期を生涯にわたる人格形成の基礎を築く時期を「学ぶ土台づくり」の時期として捉え、「親子間の愛着形成の促進」、「基本的生活習慣の確立」、「豊かな体験活動による学びの促進」、「幼児教育の充実のための環境づくり」の4つの目標を掲げています。これらの目標を達成するため、家庭、教育現場、行政がそれぞれの役割を的確に果たしつつ、連携・協力を図り事業を展開しています。

大河原教育事務所管内では、「学ぶ土台づくり」圏域別親の学び研修会を角田なかよし子どもえん（保護者対象）、角田光の子保育園（保護者対象）で実施しました。講師に元仙台大学教授大宮勇雄氏、宮城県立山元支援学校教諭 松原 淳子 氏をお迎えし、御講話をいただきました。今後の子育てに生かすことのできる、充実した研修内容でした。

☆なかよし子どもえん

令和3年11月10日（水）

参加者：20名



元仙台大学教授

大宮 勇雄 氏



熱心に耳を傾ける保護者

(参加者の声)

○日々の忙しい中で、なかなか子どもの話をゆっくり聞いてあげることができていませんでした。子ども自身、言いたいことを我慢しているときもあります。ちょっとした子どもの変化に気づき、話をしたような時や何かに挑戦する時には、分かってあげられる存在になりたいなと思いました。あれもだめ、これもだめでは、子どもの意欲もなくなり、新しいことに挑戦する機会を逃してしまう人になってしまうので、子供たちの自主性を大切に、私たちも少しずつ変わっていかれたらと思います。

○分かりやすくおもしろいと思える話の内容でした。子供と接する際に気をつけるべき点について学べました。貴重な機会をありがとうございました。

○「結果ではなく挑戦することを認めてあげる」ということの大切さをより実感することのできた研修会でした。大人もできなかったことや失敗したことを責められるよりも、挑戦したことや成功させるために努力したことを認めてもらえると嬉しいので、子供たちも同じだなと感じ、これから子供と関わる時に意識していきたいなと思いました。

☆角田光の子保育園 令和3年11月12日(金)

参加者：28名



宮城県山元支援学校 松原 淳子 氏

(参加者の声)

- 日常生活の中で、見直していかなければならないこと、注意しなければならぬことを教えていただきました。研修会に参加してよかったです。
- 子供の感受性、子供の世界を大切にすることを改めて教えられたような気がしました。いっぱい遊んであげたいと思います。
- 松原先生のお話を聞いてはっとさせられました。今日から取り組めることがたくさんあり、子供は完璧でなくてよい、9つまで、密着でいいんだという言葉が1番響きました。本当にありがとうございました。
- 私も昭和30年代生まれで、日常の遊びの中でたくさん学んだと思い出しました。今日の内容を、子育て中の子供(息子夫婦)に教えてあげたいと思います。今後の保育の仕事に生かしていきたいです。
- 子供のいつもの姿を思い浮かべながら、興味深く聞かせていただきました。家でできる何気ない遊びを紹介してもらったので、実践してみたいと思いました。感覚や運動を子供の視点で教えてもらってとても参考になりました。子育てを楽しみながら頑張ります。ありがとうございました。
- 何人子育てをしていますが、初めて知ることが多く、とても勉強になりました。少しずつですが、声かけも変えていけたらいいなと思いました。子供一人一人としっかりスキンシップがとれるよう生活したいです。
- 子供との接し方の見直しことができました。自分たちが子供の頃、普通に過ごしていた家族や友達とのやりとりが、今でも大切なことなんだと改めて感じました。
- 「何でうちの子、こうなのだろう」と疑問に思い、他のお子さんと比べてしまい不安になっていた部分が解消されたなと感じました。私の丁寧な関わり、教えが大切なのだと思います。子供の感覚や運動について知ることができたので、言葉かけも意識していきたいです。
- 発達段階による動きや遊びの必要性が分かりやすく、大変参考になりました。
- 子供の発育に合わせ、褒め方のポイントを大切にしながら子育てしていこうと思いました。ありがとうございました。

